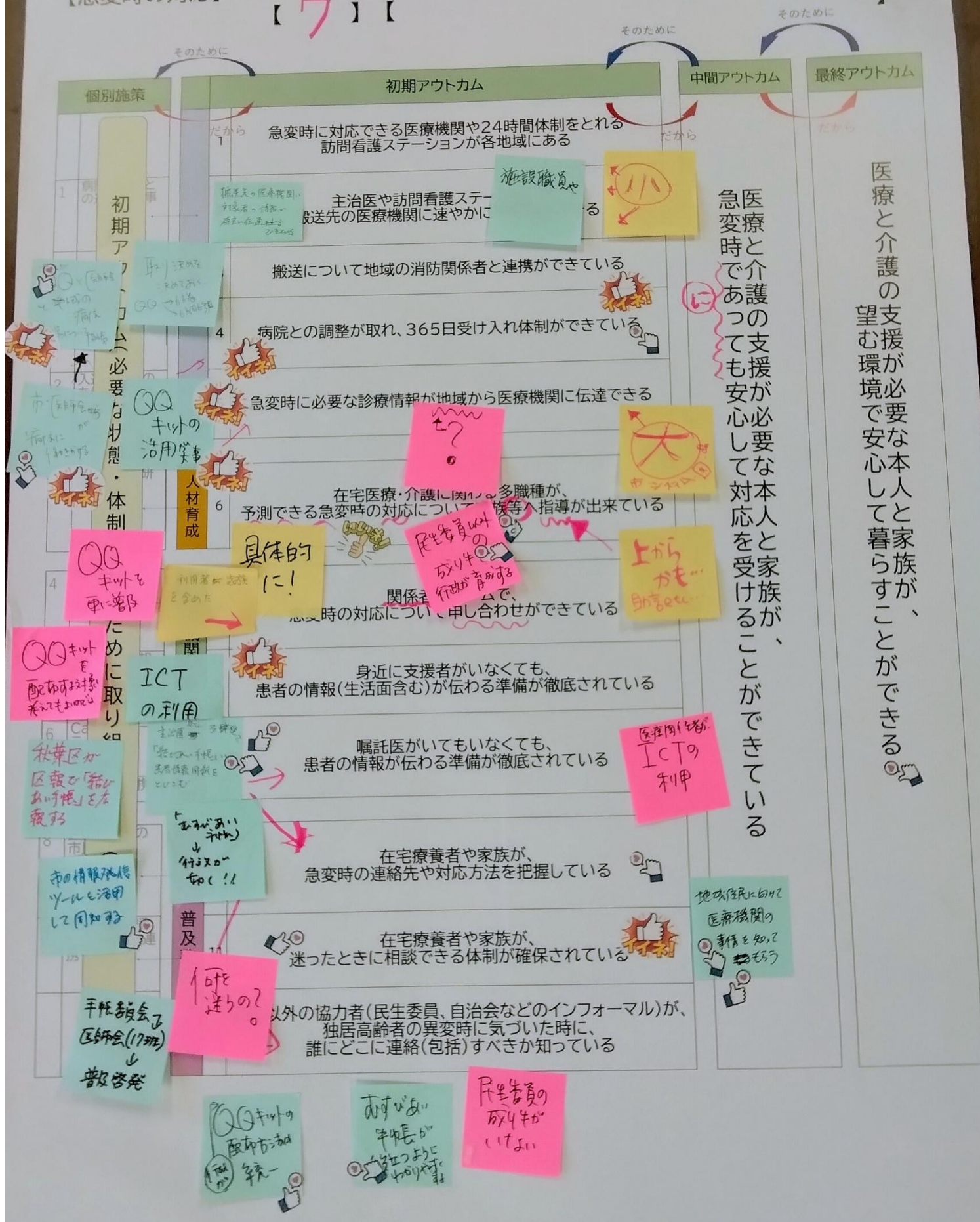


【急変時の対応】

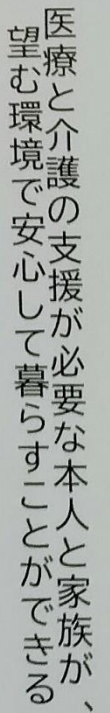
グループ

メンバー

【 7 】 【



【

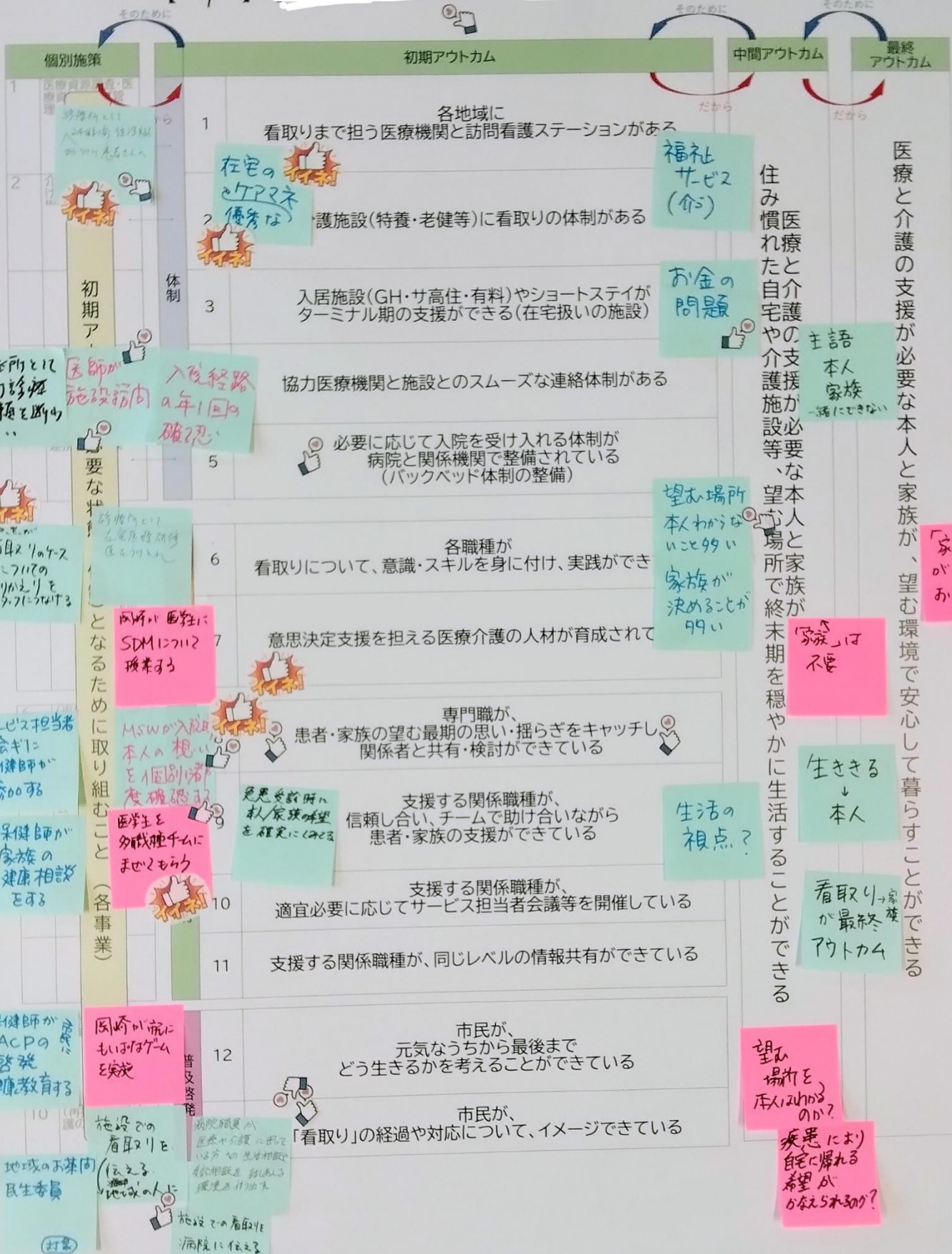


【看取り】

グループ

メンバー

【 9 】



メンバー

1



【日常の療養支援】

グループ メンバー

【 11 】

】

個別施策	初期アウトカム	中間アウトカム	最終アウトカム
1	1 住民や医療・介護専門職が、地域の資源情報を入手しやすくなる		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			
61			
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
70			
71			
72			
73			
74			
75			
76			
77			
78			
79			
80			
81			
82			
83			
84			
85			
86			
87			
88			
89			
90			
91			
92			
93			
94			
95			
96			
97			
98			
99			
100			

初期アウトカム（必要）

体制

（各事）

体制

人材育成

多機関・多職種連携

普及啓発

住民も含めるといい？

本人の意思

センター・ステーションなど、関係するガイドラインがある

本人と家族の希望を反映させる

本人の意思を反映させる

本人の意思を反映させる

本人の意思を反映させる

本人の意思を反映させる

本人の意思を反映させる

医療介護関係者が、相談できる体制がある

訪問看護の体制が整備されている
(訪問看護ステーションのアセスメント力、対応力が向上し、不要な入院を避けることができる)

疾病の特徴に応じた在宅医療の体制が整備されている

患者情報共有ツールや連携のルールが整備されている

医療・介護専門職が、日常生活療養上に必要な知識修得の機会がある

相談対応や研修企画等

同僚性
の理解

医療・介護専門職が、役割・能力が発揮されている

医療・介護専門職が、適切な時期に予防的な視点でケアをすることができている

医療・介護専門職が、患者・家族について、日頃から変化する望む生活について確認ができている

医療・介護専門職が、地域ケア会議等を通じて互いの専門性と強みを共有し、ケアを提供する際の目線をそろえることができている

本人の意思を反映させる

医療・介護専門職同士が、段階から顔の見える関係性ができている

関係者が、退院前カンファレンスやサービス担当者会議で、対象者に適した検討ができている

医療・介護専門職が、患者・家族について、平時からSWANネット等のツールを活用しながら情報共有ができている

市民が、私事として在宅医療と介護のイメージを持つことができる

地域住民同士が、独居高齢者等を日頃から見守り、協力する意識が醸成されている

関係者同士なのかな？ スーパーバイザーなのかな？

不要な入院か？ 気になる！ 在宅で安心して過ごせる！

医療・介護関係者同士のルール

連携のルールは？ フローチャート？ 窓口？

安定した日常療養生活を送ることができている

本人の意思

医療と介護の支援が必要で、本人と家族が、望む環境で安心して暮らすことができる

活用のために普及を目指す！

